

第6章 地域力を発信するまちづくり

- 第1節 地域間連携・交流の推進
- 第2節 国際交流の推進
- 第3節 コミュニティづくりの推進
- 第4節 男女共同参画社会の実現





第1節 地域間連携・交流の推進

1 現況と課題

- (1) 高速交通網の整備・発達や高度情報化の進展により、町民を取り巻く環境は空間的、時間的にも広がりを見せ、生活・活動範囲は市町村という行政単位を越えて広域的に拡大しています。そこで、本町の歴史や文化的背景を活かした交流など、市町村域、広域圏域、県域など従来の枠を越えて、行政をはじめ各団体がお互いにハード・ソフト両面で協力体制を築き、全域の活性化を図る地域連携の必要性が高まっています。
- (2) 本町においては、ごみ処理をはじめ、し尿処理、上・下水道、消防、医療など一部事務組合を通して連携を図っており、福祉、教育、観光などの分野でも連携が重要となります。
- (3) 久留米市を中心とした4市2町からなる「久留米広域市町村圏事務組合」、「筑後田園都市推進評議会」や「甘木線推進協議会」、新たに発足した「定住自立圏構想」を機軸にして、近隣市町村と連携のもと地域活性化に取り組んでいます。また、筑後川を軸とした県境を越えての「筑後川中流域未来空間形成事業」への取組みなど広域的な交流の動きも見られます。地方自治体の役割と責任が増大する中、個々の自治体での対応は困難な状況にあるため、行政をはじめスポーツ、文化などあらゆる面における広域的な交流が地域活性化に必要となっています。

2 基本方針

広域的な連携や交流の動きが広がる中、行政需要や課題解決に向けた取組みと町民の生活圏の拡大に伴い、教育、福祉、環境、レクリエーションなど多岐にわたる町民ニーズに応えるため、市町村や県を越えた取組みを図っていきます。

3 施策の内容

(1) 広域圏事業連携意識啓発の推進

- ①久留米広域圏市町村事務組合や久留米拠点都市地域計画さらには、定住自立圏構想を推進するため、関係市町村と情報交換を深め連携を強化し行政需要や課題解決に取り組みます。
- ②地域連携に向けた広域的な交流活動、人材育成や町民意識の高揚を図るためシンポジウム*やパンフレットなどによる啓発活動に取り組みます。

(2) 地域間交流の連携と交流活動の支援

- ①筑後川流域、幹線道路、鉄道沿線など川、道路、鉄道などで繋がる市町村と、産業、教育、文化、環境などあらゆる分野で交流を図り、地域特性を生かした連携、協力を促進します。
- ②スローフードフェスタなどを通じて、地元特産物の野菜や、郷土料理など大刀洗町の食文化、自然環境をアピールすることで都市圏との交流人口の受入を促進します。
- ③まちづくりシンポジウムや教育・文化・スポーツイベントなど各種の生涯学習教室などを通じ町民同士の交流をはじめ町外者との交流も促進していきます。
- ④町民団体やボランティア団体、企業などがまちづくりを目的として行う交流事業などの情報の提供・発信を支援します。
- ⑤本町の歴史や文化的背景を活かした、関係市町村や福岡都市圏との交流の推進方策を検討します。

4 計画事業

- ①地域SNS*「ちっこねっと」の利用促進
- ②スローフードフェスタ
- ③大刀洗町ドリームまつり
- ④インターネットなどによる地域情報の発信

